

H21. 6. 26  
交通計画課

## 第 2 回 市川市自転車安全利用対策懇談会 ワークショップ

### 1 ワークショップとは

国語辞典の大辞林によりますとワークショップとは「1 仕事場。作業場。2 参加者が専門家の助言を得ながら問題解決のために行う研究集会。3 参加者が自主的活動方式で行う講習会。」となっています。

この懇談会では、1 班 5 名の 3 班に分かれていただきまして、「自転車の安全利用対策に関すること」等のテーマについて、メンバーの方同士、自由に問題点等、意見を交換していただきたいと思えます。

### 2 ワークショップのメンバー構成(案)

メンバー構成(案)は下記のとおりです。メンバー構成(案)は、自治会、警察署、大学生等、交通安全団体などの委員さんが、各班に偏りがないように入っていただくように考えました。

各班のメンバー構成(案)

班	所 属
1	鬼高自治会長
	八幡・自転車対策協議会副会長
	市川警察署交通課庶務係長
	千葉商科大学 3 年生
	市川市道路交通部交通計画課長
	事務局職員
2	行徳警察署交通課係長
	行徳ハイライズ自治会長
	和洋女子大学 4 年生
	市川市交通安全母の会
	事務局職員
3	千葉県自転車・軽自動車商協同組合市川支部支部長
	八幡門前自治会長
	千葉県サイクリング協会監事
	岩手県立大学総合政策学部教授
	事務局職員

### 3 本日のテーマ

自転車の交通ルール・マナー周知のための検討

- ・ 交通安全教育
- ・ 広報啓発
- ・ 違反に対する指導・取締り

### 4 役割分担

班の中で、司会進行をする方1名と発表する方1名を選んでいただくようお願いいたします。書記は、各班に1名ずつ事務局の職員が入ります。

### 5 ワークショップの進め方

- ①各班で、上記テーマについて自由に問題点等、意見交換をします。
- ②次に、メンバー各人が、ポストイットに問題点等を記入します。
- ③記入したポストイットを模造紙に張り、関連のあるものをグループ化します。
- ④模造紙にマジックを使って、班名、テーマ、問題点等のグループ化等を記入します。①から④まで30分間
- ⑤完成した模造紙をホワイトボードに張ります。
- ⑥各班から発表していただきます。

### 6 コメント

各班の発表が終わりましたら、座長からコメントをいただきたいと思います。